



やらまいか

クラブテーマ：新たなチャレンジ、さらなるレベルアップ

会長／柴田浩志 幹事／杉浦節子 会報委員会／吉田 悟・浅野 晋 例会／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 FAX0533-86-8889 HP／<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第35回 通算1566回 2019年3月26日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	8/4 修正出席率
		70名	37名	56.1%	100%

ゲスト：市内6高校 生徒29名 教諭6名 ビジター：(なし)

★会長あいさつ

柴田浩志会長



こんにちは。各学校の生徒の皆さん、先生方、春休みの貴重な時間を割いてご出席を頂きまして、ありがとうございます。

この会が発足して今年で12年になります。ボランティア活動の発表と交流会が毎回行われています。

生徒の皆さんは、ロータリークラブの例会と呼ばれたけど、ロータリーって何だろうと思っている人も多いと思います。ロータリーって簡単に説明をします。

概ね豊川市内や近隣で事業を営んでいる企業人の集まりです。それぞれの事業を通して社会に貢献しようということを基本にメンバーが集まっています。ロータリークラブは、当クラブだけではなく、豊川市にはもう一つありますし、東三河では12のクラブがあります。そして愛知県には85のクラブがあります。それぞれのクラブが活動をしています。活動を通してネットワークを広げる。そして活動を通して自己の研鑽をしながら、人づくり街づくりに貢献していこうと活動をしている団体です。本日の例会も、基本的な理念のもとで開催されています。

皆さんのボランティア活動発表を聞いて、我々の活動にも参考にさせて頂きたいと思えます。そして、皆さんには、学校間の情報交

換と交流の場にして頂きたいと思えます。短い時間ではありますが、有意義な時間にして頂ければと思います。よろしくお願ひします。会員の皆さんには業務連絡です。例会終了後に、4月14日の地区研修・協議会のプログラム冊子に載せる登録者名簿の確認作業のお手伝いをお願いしたいと思えます。よろしくお願ひします。

★幹事報告

杉浦節子幹事

例会臨時変更のお知らせ
4月の例会予定について

★委員会報告

地区協の総務担当リーダー（滝下委員長）
地区研修・協議会の登録者名簿の校正確認作業お手伝いのお願い

★青少年奉仕委員会担当例会

委員長あいさつ

細井勉委員長



こんにちは。本日は青少年奉仕委員会の担当例会をさせて頂きます。毎年恒例の高校生の皆さんをお招きして、ボランティ

ア活動の発表会を開催させて頂きます。

昨年は、非常に災害が多い年だったと思えます。その度にボランティアの皆さんの活躍

がテレビや新聞で報道されます。スーパーボランティアおじさんがメディアで話題になりました。素晴らしいことだと思いますが、とても私には真似できないです。

昨年は、ボランティアがとても話題になった年だと思いました。今日の高校生の皆さんの活動の報告を聞いて、皆さんの活動の参考になればと思います。今日は宜しくお願いします。

豊川工業高校



今から豊川工業高校ボランティア部の発表を始めます。私たちは1年生1人、2年生5人の計6人で活動をしてきました。

今年は例年に比べて少人数でしたが、よりボランティア活動に参加させてもらいました。

今年参加させてもらった活動の紹介をします。活動の内容は、大きく分けて3つあります。

一つ目は、月に一度土曜にプリオ生涯学習コーナーで行われる、小学生を対象としたモノづくり教室です。このボランティアは、地域の小学4年から6年生の子供たちに工作の楽しさや工具の使用方法を教える教室です。私たちが指導員という立場で、豊川少年少女発明工作の人たちと一緒に工作の楽しさを教えています。このモノづくり教室には、皆勤賞があり、1年皆勤、2年皆勤、3年皆勤に分かれています。最近の活動は、皆勤賞の子供たちに渡すプレゼントの作成をしています。このボランティアに参加することで、様々な体験談を聞くことが出来、地域のボランティアに参加している方々や子供たちと交流を深めることが出来、とても良い勉強になっています。

二つ目は、キャンドルナイトです。今年は平和記念公園のPRイベントの一環として、キャンドルナイトを行いました。昨年まではキャンドルで文字を描きましたが、今年は平和の象徴として知られる鳩を描きました。この活動は、豊川工業だけでなく、他の高校の生徒の皆さんと一緒に無事に成功させることができました。私たちも初めての試みで、慣れないこともありましたが、また一つ大きな体験をさせて頂くことが出来ました。この経

験をこれからの活動に活かしていけるように頑張っていこうと思います。来年度のキャンドルナイトの詳細については、また報告させて頂きます。

3つ目は、地域のボランティア活動です。今年もたくさんのボランティア活動に参加しました。ふれあいフェスティバルでは、老若男女問わず色々な方々とキャンドルづくりを通じて触れ合うことが出来ました、としなが祭りでは、実際に夜間の手伝いもしました。そのほかにも、あしなが募金、おいでん祭、豊川リレーマラソン、夏祭りのボランティアなど1年を通して様々な活動を行い、地域の役に少しでも立つように日々頑張ってきました。これからも多くのボランティア活動に参加して、活動の幅を広げていこうと思います。ご清聴ありがとうございました。

宝陵高校



平成30年度、愛知県立宝陵高校ボランティア活動報告をします。

今年度ボランティアに参加した時の様子や活動

内容を紹介します。毎年参加させて頂いて豊川リレーマラソンのボランティアには、23人が参加しました。私たちは、毎年、救護の担当をさせて頂いています。今年受付けでの参加賞の配布や選手変更などのトラブルコーナーへの誘導、選手のゼッケン番号の読み上げ、参加者の写真撮影など、様々な場所でボランティアをしました。

衛生看護科が実習でお世話になっている豊川市民病院のボランティアには、13人が参加をしました。祭り開始前には、近隣住宅を訪問し、うちの配布や祭りの案内を行いました。また模擬店のお手伝いや盆踊りに参加し、祭りを盛り上げました。

福祉科の実習でお世話になっているみかんの樹のボランティアには、11人が参加しました。移動販売を行い、移動が困難な方にも様々なものを購入して頂きました。他にも模擬店の手伝いとして、流しそうめんの係を行いました。

ケアリゾート・オリーブの夏祭りボランテ

ィアには、5人が参加しました。施設の人が作った小物やバックの販売のお手伝いをしました。利用者の方だけでなく、普段接することが少ない子供たちとの関わり方も学びました。

今年度参加させてもらった地域のイベントや福祉施設を紹介します。あしなが学生募金、豊川市のボランティアだけでなく、豊橋市のボランティアにも参加しました。福祉施設や病院のボランティアも行いました。喜寿苑、みその、ホテルの里、シンシア豊川、ゆうあいの里、オリーブ、千両荘、サマリアの丘、みかんの樹、宝寿苑、さながわ、さわらび荘、若竹荘、豊川苑、豊川市民病院、あがたメディカルホームなどの夏祭りや秋祭りに参加し、模擬店の手伝いや入所者の方の介助等させて頂きました。

今年度のボランティア参加状況は、今年度の4月から3月までの参加回数の合計は209回でした。

今年度のボランティア参加人数の割合は、全校生徒202人のうち、87人が参加しています。

ボランティア活動参加の活性化に向けて、ボランティア掲示板を見やすくしました。更に募集内容を見やすくするために、ボランティア団体から頂いたプリントだけでなく、ポスターを作成し、全校生徒の目に留まる掲示板になるようにしました。

本校の行事である体験発表会では、全校生徒にボランティア活動について考えてもらったり、ボランティアの活動内容を知ってもらうような発表を行いました。

私たちは、来年度ボランティアの参加人数や参加回数を増やすなど、ボランティア活動の活性化を課題に取り組んでいきたいと思えます。ご清聴ありがとうございました。

御津高校



御津高校生徒会です。平成30年度後期は、6人が生徒会役員を務めてきました。

御津高校では、生徒一人一人が自分の意志でボランティ

アに参加するシステムとなっています。

豊橋まちなか歩行者天国のボランティアは、8月から11月にも募集がありました。その結果、5月から11月までの7回で、3回参加した生徒に、豊橋市まちなか活性課の課長様から特別感謝状が送られました。

スキップクラブのボランティアは、御津高校近隣の小学校のある学童保育でのボランティアです。

愛の年賀状のボランティアは、情報の授業を通して、2年生の生徒全員に参加してもらったボランティアです。

いなりんピックおもてなしボランティアは、1年生と2年生の生徒が多数参加をしました。

今年度は様々なボランティアに参加をしましたが、2年生の参加率が高くなっています。1年生は、特別感謝状が送られた生徒がいる一方で、後期の新規参加者数が少ないです。3年生は、昨年度より半減しました。

御津高校は、休日は部活動の試合、大会、模試に加え、各種検定試験に参加する生徒が多く、その分、参加できるボランティアも限られています。限られた中で参加できるボランティアに参加し、地域活性化のお手伝いをしていきたいと思っています。そして、引き続き、参加内容や人数に関係なく、しっかりとボランティア活動をするという気持ちを忘れないようにしたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

国府高校



国府高校は、2020年に創立100周年を迎えます。それに向けて100周年プロジェクト実行委員会がつくられ、様々なこと

に取り組んでいます。毎年発行されている広報にも100周年に向けた特別ページを設けて、学校が一つになって100周年を良いものにしようとして取り組んでいます。

北海道地震の募金について紹介します。文化祭と体育祭の期間と同時に行いました。特に文化祭では、各ブースの出入り口に簡易的な募金箱を設置することによって、来てくださった保護者の方々からも募金を頂くことが

出来ました。そのおかげで合計金額が4万円を超え、義援金として寄付をしました。

赤い羽根募金について紹介します。今年の赤い羽根募金は2日間という短い期間でしたが、80,448円という多くのお金を集めることが出来ました。ここ数年の赤い羽根募金活動で1番多い金額となりました。国府高校の生徒や先生方の心の温かさを改めて感じる事が出来、いい活動になったと思います。

学校周辺美化ボランティアについて紹介します。今年も例年同様、学校周辺美化ボランティアを実施しました。約300人が参加をし、学校内や周辺、駅からの通学路を掃除しました。普段の掃除の時間にできないところや、気づきにくいところまで掃除することが出来ました。ボランティア後のアンケートでは、自分たちの学校や街をきれいにすることが出来て心が浄化された、もっと日頃からやっておくべきだった、と言う声がありました。今回の活動の課題も上がったので、これからの活動に活かしていきたいです。これからも、このような活動を続けていきたいと思ひます。

最後に、この半年間の活動のまとめとしては、この半年間はとても物事が早く片付いたので、そこが良かったと思ひます。そして、学校外のようなボランティアに参加をしたいと思ひました。ご清聴ありがとうございました。

小坂井高校



平成30年度、小坂井高校の生徒会活動報告、ボランティア活動について報告します。

私たち生徒会は1年生3人、2

年生3人の6名で活動をしています。

9月からの活動の報告と今後予定しているボランティア活動と、生徒会が行ってきた活動について紹介します。

前期同様にコンタクトレンズの回収を行いました。前期では、約55キロのコンタクトレンズを回収することが出来ました。今後も回収を呼び掛ける活動を行いたいと思ひます。

9月に行われたはぐま祭での活動を紹介します。私たちは生徒会企画として、被災地へ

の復興支援を行いました。今年度は昨年度同様、東日本大震災で被災された東北地方の方々への支援に加え、熊本の地震で被災された熊本県の方々への支援も行いました。今年は66,350円の売り上げがありました。私たち高校生が出来ることは小さなことかもしれませんが、このような活動を続けていくことで、被災地の復興を早めたり、被災した方々の笑顔を増やすことのきっかけになることもあると思うので、これからも続けてきたいです。

私たちは、赤い春募金を4日間行いました。赤い羽根は、アメリカなどで勇気や良い行いという意味があり、私たちも高齢者や障害を持った方々へ少しでも多くの支援となるように募金活動を行いました。その結果、昨年度を上回る46,087円も集まりました。この活動をこれからも行っていきたく思ひています。

昨年11月に行われた小坂井高校クリーン大作戦について報告します。部活単位で清掃区域を決めて、学校内や学校周辺の道路、通学路を清掃する活動です。学校だけでなく、地域も綺麗にしたいという思ひを持つ生徒たちが、一致団結して清掃を行いました。参加することで、地域におけるボランティア活動の身近さを参加者全員が理解することが出来ました。この活動を通して、ボランティア活動をするチャンスは身近にあることを沢山の人の人に知ってもらいました。また本校のボランティア活動の充実のために、これからも継続的に行っていきたく思ひます。

今年の後期より、豊橋中央高校との交流始めています。豊橋中央高校では、リヤカーボランティアという活動をしています。リヤカーを引きながら、ごみを拾うという活動で、その活動に参加させてもらうために話を聞いたり、その他のボランティア活動を企画することなど、様々なことを話し合いました。今後のボランティア活動の促進に役立てていきたいと思ひます。私たちの学校は、ボランティア活動が活発ではないので、この交流を通して新しいことに挑戦していけるようにしていきたいと思ひます。

皆さんと何か協力してできないかと考えています。この後の交流会の席で話し合いをしたいと思ひています。

これからやりたいと思ひているボランティア活動は、5月に行われる豊橋善意フェスティバルに参加したいと思ひています。参加したい理由は、この活動を通して様々な年齢の

方々と交流を深めたいと思ったからです。貴重な体験をすることが出来ます。このボランティアを通して、人と関わる大切さ、楽しさを学びたいと思います。

5月の豊川市のおいでん祭のボランティアにも参加したいと思っています。日頃、生徒会では校外のボランティア活動の機会が少なく、地域のために貢献できるとても良いチャンスなので、ぜひ参加したいです。

私たちの先輩方も、地域のために何かをすることにやりがいを感じた、初めて地域のために役に立っている自分がいることを実感したという意見もできました。ぜひ参加して、貴重な体験をしたいと思います。

今まで色んなボランティア活動をさせて頂き、ボランティアの本質、一番大事にしないといけないところは、御津高校さんが言われていたように、心が大事だと思っています。そのボランティア活動をするには、心を育てていく場だと僕らは考えています。近年言われている南海トラフ巨大地震が、昨年あった西日本豪雨、北海道地震など、イザというときに自分だけでなく、助け合う心を育てることが一番ボランティアの活動で重要視していかないといけないと思っています。ご清聴ありがとうございました。

豊川高校



豊川高校生徒会執行部の活動を報告します。生徒たちがよりよい学校生活を送れるように日々活動をして

います。

今年の7月のロータリー例会、昨年度は台風の影響が叶わなかった豊川海軍工廠戦没者献花、11月にモリコロパークで開かれるフェスティバル、豊川市内の福祉施設で行われたタケノコ祭りボランティア、1月1億円募金活動、2月のフェスティバルに参加しました。

本校のオープンスクールについて紹介します。夏と秋に1959名の中学生が参加しました。部活動によるステージ発表では、私たち生徒会執行部と演劇部、放送研究部が運営し、中学生の皆さんを歓迎しました。

愛知私学奨学金支援1億円募金活動につい

て報告します。略して1億円募金は、愛知県高校生フェスティバルが主催する、学費に苦しむ中高生を救うための募金活動です。経済的な理由により、学校に通えない中高生に年間12万円を無利子奨学金を貸し出すために行っています。お正月には、豊川稲荷で、豊橋中央高校と愛知県高校生フェスティバルの生徒と合同で、一億円募金活動を行いました。年明け早々の活動だったので、参拝に来られる方々の協力もあり、2時間の滑動で153,414円集めることが出来ました。これは、年間12万円の奨学金を1人に貸し出せる金額です。学費に苦しむ中高生を一人救うことが出来たので、また頑張りたいと思います。

愛知県高校フェスティバルについて紹介します。生徒会と生徒、先生と生徒にパイプ役を持たせる活動を行っています。公私格差の撤廃を目的とした署名活動なども行っています。それに加え、私学助成、教育に公平の我々中高生の思いを踊りよって表現した郡部というもの一から考えて作ったり、学習会を開いて学びの機会を広げたり、積極的な活動を行っている団体です。詳しくはホームページをご覧ください。4月28日に南山高校で開催される「新入生歓迎フェスティバル」では、新郡部が披露されます。模擬店や高校生サミットなど毎年盛り上がっています。ぜひ足を運んでみてください。

今年度は、創立90周年の年でした。元競泳選手の松田さんの基調講演、青山学院大学陸上競技部の原監督の講演会が行われました。

6月から始まる前期生徒会執行部では、新3年生の大半が生徒会活動を終えます。新1.2年生には引き継いでもらい、より一層活動の幅を広げて行ってほしいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

★コボラン・コラボ・穂の国7交流会

例会終了後に交流会が行われました。

テーマ

「ボランティア活動をして印象に残った事。
また、これから今後どのようなボランティア
に携わってみたいか」



★ニコニコボックス

細井 勉会員 本日担当例会です

★委員会活動

地区研修・協議会のプログラム冊子の登録者
名簿の校正作業を皆さんに行って頂きました。



会報担当：吉田 悟会員・浅野 晋会員